

ちょっと知りたい

市役所の仕事

農務課

農地係
(農業委員会)
振興係
農政係

Q 主な仕事は？

農地の権利移動・転用・利用調整の指導・相談、米の生産調整の推進、せん定枝リサイクルプラントの管理運営などを担当しています。

Q 安城市の農業の実態は？

市域の約45%の4000畝が農地です。年間の農業粗生産額は、約107億円で県下7位、水稲・小麦・大豆を始め野菜・花き・果樹・畜産などが盛んです。特にいちじくは全国一。健康にも良いと言われ、ワイン・ジャム

などの特産品も好評です。また、小麦・大豆・きゅうりは県下一、水稲・梨も県下の上位に入っています。

しかし、現在、食料の自給率の低下(40%)、外国からの安い農産物の輸入、担い手の減少・高齢化、さらに昨年は、BSE(牛海綿状脳症)問題もあり、農業を取り巻く環境は大変厳しくなっています。

農地は、食料の安定供給はもちろん、国土や環境の保全、災害対策など多面にわたり、大きな役割を果たしています。年々減少しつつある農地を守るとともに、生産者だけでなく消費者を交えたお互いの顔が見える農業を進めていかなければなりません。



答える人

農務課長 神谷 廣明

農地は、食料の安定供給はもちろん、国土や環境の保全、災害対策など多面にわたり、大きな役割を果たしています。年々減少しつつある農地を守るとともに、生産者だけでなく消費者を交えたお互いの顔が見える農業を進めていかなければなりません。

Q 「地産地消」って何ですか。

「地元で取れた農産物を地元で食べよう」という動きのことです。安全・安心・新鮮・おいしいというメリットがあります。学校給食にも地元産のチンゲン菜、そうめん、イチジクジャムなどが出されています。また、道の駅でも産直グループの皆さんが作った新鮮な野菜・果物を買うことができます。ぜひ一度立ち寄ってください。



▲ハウスでのきゅうり栽培

お米の消費を！(おにぎりがない)

小学生のアンケートでは、おいしいご飯の食べ方の一番は、ダントツで「おにぎり」です。しかし、米の年間消費量は、国民1人当たり65kg程度でピーク時の約半分と大幅に減少しています。米対策には、消費拡大が必要です。お子さんに人気のおにぎりを始め、毎食時には地元産のご飯を食べていただくことで、せんべいなどの米製品の消費にもご協力をお願いします。

野草歳時記

132



ミソハギ

みそはぎ (千屈菜 ミソハギ科)

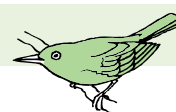


ミソハギという人もあります。田の溝に多いので、一応もっともに聞こえますが、正式な名は「襖萩」で、お盆のころに咲くこの花を仏事のお供えに使うところから出たものとの説が有力です。

花の終わるころの全草を水で洗い、日干しにしたものをせんじて食前に飲むと下痢止めになります。虫さされなどには、葉のみをせんじ、そのせん液で洗うか、飲みます。写真・文／三井亨氏＜城ヶ入町・安城市文化財保護委員＞

安城の野鳥

155



カイツブリより大きく首が長いです。ピンク色の長いくちばしと頭の左右の小さなこぶが目立ちます。夏羽になると、えらのような赤褐色の飾り羽が生え、頭のこぶも大きくなり、冠をかぶったようになることからこの名前が付いています。主に冬鳥として渡来し、琵琶湖や岐阜県、市内

では油ヶ淵で冬季に記録がありますが、数は多くありません。

写真・文／杉山時雄氏
＜桜井町・西三河野鳥の会会員＞



カンムリカイツブリ
ー カイツブリ科 ー